

平成29年度第3回理事会議事概要

日 時 : 平成29年6月9日(金) 16:00～17:00

場 所 : 森林総合研究所特別会議室

出席者 :	理事長	沢田 治雄
	理事(企画・総務・森林保険担当)	桂川 裕樹
	理事(研究担当)	田中 浩
	理事(育種事業・森林バイオ担当)	川野 康朗
	理事(森林業務担当)	大山誠一郎
	理事(法令遵守担当)	三木 眞
	監事	鈴木 直子
	監事	平川 泰彦
	総括審議役	上野 司郎
	総括審議役	小山富美男
	総括審議役	大貫 肇
	審議役	河野 晃
	企画部長	坪山 良夫
	総務部長	松本 寛喜

1. 開会

(上野総括審議役)

定刻になりましたので、平成29年度第3回理事会を開催いたします。本日は議題が1件、報告事項が4件となっております。順次説明をお願いいたします。

2. 議事

I-1 年度計画に係わる自己評価書の提出について

(桂川理事)

国立研究開発法人は、独立行政法人通則法第35条の6第1項及び第3項に基づき、「毎事業年度の終了後、当該事業年度が次の各号に掲げる事業年度のいずれに該当するかに応じ当該各号に定める事項について、主務大臣の評価を受けなければならない。」とあり、また「各事業年度の終了後三月以内に、同項第一号、第二号又は第三号に定める事項及び当該事項について自ら評価を行った結果を明らかにした報告書を主務大臣に提出するとともに、公表しなければならない」こととされています。この評価結果の報告書が「国立研究開発法人 年度評価項目別評価調書」です。

国立研究開発法人森林総合研究所の平成28年度に係る業務の実績に関する自己評価書について、別添資料のとおり農林水産大臣に提出してよろしいか、お伺いします。

なお、昨年度は第3期中期計画の最終年度に係る評価でしたので、計画全期間を通しての期間評価と年度評価の両方を受けました。今回は第4期中長期計画スタートである平成28年度の年度評価だけを受けることになります。

(上野総括審議役)

平成28年度計画に係わる自己評価書の農林水産大臣への提出の承認を求めるものです。今年度は本評価に係る研究開発審議会林野部会が2回開催されることとなっており、その第1回が6月20日、第2回が7月13日に予定されております。

(田中理事)

大臣に提出する確定版はいつになりますか。

(上野総括審議役)

法律的には6月30日が農林水産大臣への提出締め切りとなります。今年度は6月中に審議会が開催されることから具体的な提出時期は今後調整することになります。

(田中理事)

本日の資料は確定版でなく、修正が入ることもあるということですね。

(桂川理事)

ケアレスミスの訂正も含め、今後、修正があり得るものと考えています。

(大山理事)

必要な修正は理事長に一任ということでよろしいでしょうか。

(上野総括審議役)

必要な修正につきましては、各センターとも相談しながら進めてまいりたいと思いますが、最終的にはそのような形にさせていただきたいと思います。

(平川監事)

自己評価でAはいくつあったのでしょうか。

(田中理事)

研究・育種ではア・ウ・エがA、他の項目は基本Bです。

(桂川理事)

計画通り達成すれば評価はBになりますので、Bが多くなります。

(田中理事)

昨年度も「研究以外の業務でもAを取れる形があってもいいのでは」という話がありました。ただ、今回もAを付けているのは研究部門の3件だけです。

(桂川理事)

例えば、森林保険業務では商品改定の検討が終わってこれから実行に移すところですが、これが上手くいけば自己評価でAを付けるということはありません。

(上野総括審議役)

それでは、修正は理事長に一任いただきますとともに、準備整い次第、農林水産大臣へ提出することで理事会の承認といたしたいと思います。

Ⅱ-1 第4回国立研究開発法人協議会総会について（報告）

(田中理事)

6月1日、第4回国立研究開発法人協議会の運営分科会及び総会が開催されました。

運営分科会では、情報セキュリティタスクフォース設置の承認と今後タスクフォースの活動を通じて情報の交換と共有を行なっていくことの確認が行われました。各法人の規模の違いや情報セキュリティシステムの相違もあることから、その点を勘案しながら情報交換を行うべき、との意見がありました。

また、運営課題に関する第4回調査結果の概要の報告が行われました。

総会では、運営分科会の報告の後、事務局から6月中旬を目途に公表予定の「国立研究開発法人における改善事項（要望）」の説明が行われました。

内容ですが、「一．施設の老朽化及び研究目的に必須な大型装置等更新予算の確

保」では、どの研究開発法人も同様に、施設等がかなり年数が経つことから更新や修繕に必要な予算について要望が出されています。

「二．運営費交付金の安定な確保」では、平成２３年度から平成２９年度までの間に運営費交付金は約１割減となっており安定的な確保について要望が出されています。

「三．イノベーションシステムの確立に向けた研究開発等の促進・充実」では、クロスアポイントメントやベンチャー企業への出資等に係るいくつかの要望が出されています。

「四．運営に関する規制等の緩和」では、寄附税制や随意契約に関して緩和の要望があるほか、研究成果を活かすためにベンチャー企業との連携等をやりやすい形にして欲しいという要望がありました。

各法人におけるＳＤＧｓへの取り組みアンケートの報告の後、内閣府の国立研究開発法人制度改革担当の星野参事官から政府の動向についての報告が行われ、総合科学技術・イノベーション会議の上山議員から「エビデンスに基づく政策立案の推進に向けての調査」について協力依頼の説明がありました。この調査は、法人の財産、予算、人事、研究活動のアウトプット等、属人レベルの情報を含む大規模な調査であり、その活用の方向や法人側の事務的対応など様々な課題が想定されます。いま国立大学で調査を行っており、国立研究開発法人へも広げていきたいということです。当法人の対応ですが、基本的には研究開発部門が中心となるかと思います。

（上野総括審議役）

国立研究開発法人協議会につきましては、平成２７年４月１日の独立行政法人通則法の改正により、国立研究開発法人というカテゴリーができたことを受け、平成２８年１月２１日に関係機関が集まって設立したという経緯があります。その４回目の総会の報告でした。

Ⅱ-２ 平成３０年度における新規採用について（案）（研究・育種分）

（松本総務部長）

平成３０年度における新規採用についての説明です。

一般職は、採用予定日が平成３０年４月１日、試験方法は独自試験によるものですが、外部に委託して実施します。配属予定は森林総合研究所等です。スケジュールですが、平成２９年度と比べて若干早くなっていますが、県や市町村の採用試験との競合がありますので、実施に際しては、そちらも見ながら進めていきたいと思っています。

次に研究職ですが、採用予定日が平成３０年４月１日、試験方法は記述試験は行わず研究業績等の書類審査を行い、あとは面接試験になります。配属予定は森林総合研究所等です。スケジュールは一般職と同様です。

（上野総括審議役）

採用方法等は基本的には変わらずに時期が早まっただけですか。

(松本総務部長)

そのとおりです。

また、ご報告ですが、今年の4月に一般職を5人、研究職を11人採用しました。昨年の理事会では、人事院勧告の内容を見ながら、年度途中の採用を判断したいとご説明しましたが、研究職について、今年度の人事院勧告をある程度見越した形で今秋を目途に追加採用を行いたいと考えています。時期や人数等については決まり次第ご報告したいと思います。

Ⅱ-3 「平成29年度整備局長及び水源林整備事務所長合同会議」の開催について (大山理事)

5月25～26日、平成29年度整備局長及び水源林整備事務所長合同会議を開催しました。各整備局長からの平成29年度重点取組事項の報告内容は、水源林造成事業の進め方、研究開発部門との連携、地域の森林整備への貢献のほか、森林整備センターへの要望等についてでした。この中でシカ被害の対策について研究部門と連携しつつ、現地検討会で普及を図っていくという報告がありました。

また、業務遂行にあたっての留意事項について説明を行いました。更に、外部から講師を招いてコンプライアンス研修を行い、利害関係者との接触する際の注意点について講話をしていただきました。

(沢田理事長)

重点取組で話題になったことは何ですか。

(大山理事)

シカ被害のほか、人員が欲しい等の話がありました。人員については採用は行っていますが予算の範囲内で工夫しています。

Ⅱ-4 「平成29年度水源林造成事業地理情報管理システム検討会」の開催について (大山理事)

水源林造成事業地理情報管理システム（水源林GIS）を平成28年度から本格運用していますが、更に改良・改善、習熟を図る観点から、3回に分けて計45名が各水源林事務所から集まり検討会を行います。実際にGISを使用している職員の声や体験を反映できるよう意見交換の場を設けるほか、森林施業計画編成業務、主伐計画図作成に当たってのGISデータ活用法及びシステムメンテナンスの手法について学んでもらうこととしています。水源林GIS導入にあたり、家原領域長ほか多くの研究員からお知恵をいただき、これからも研究員の方から教えていただきながら進めていきたいと思っています。

(田中理事)

家原さんの名前がありましたが、今回も研究から誰か指導に行くのですか。

(大山理事)

この会議でありませんが、中北さんに講義していただくことを考えています。

(上野総括審議役)

いまの利用形態は机上での図面作成ですか。

(大山理事)

現場に持って行くまでにはなっていないと思います。

(沢田理事長)

地理情報システムは、日本の人工衛星「みちびき」を使用するようなシステムに変えようとする動きがあります。これに対応できるよう、まずは研究所がやらなきゃいけないと思いますが、連携を密にしながら進めて下さい。

(上野総括審議役)

報告事項は以上でございます。議題にはありませんが、監事からのご報告があります。

(平川監事)

6月23日、平成28年度監査報告書を理事長へお渡しする予定です。それに先立ち6月19日に理事長とつくば、日立在勤の理事に、6月20日は鈴木監事から川崎在勤の理事へ事前説明をさせていただきます。

今回の監査報告書ですが、年度計画達成の部分はシナジーに向けた動きに関すること及び内部統制で機構化に向けた動きに関する報告になります。

(上野総括審議役)

本日は以上でございます。

次回の平成29年度第4回理事会は7月14日（金）を開催予定といたします。

これで平成29年度第3回理事会を終了いたします。

3. 閉会